

多根記念眼科病院

2022 年度年報

目次

病院概要	2
診療部(眼科)	3
看護部	3
医療技術部(視能訓練科)	5
医療技術部(臨床検査科)	6
医療技術部(栄養科)	7
手術センター	8
薬局	9
医療安全部	11
事務部	13
資格一覧	14
学会発表	15

〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39

TEL : 06-6581-5800 (代表) FAX : 06-6581-5063

交通 :

電車

J R大阪環状線・大正駅 または

大阪メトロ・長堀鶴見緑地線大正駅 下車徒歩 8 分

阪神なんば線・九条駅 下車徒歩 10 分

大阪シティバス

なんばより (60) 天保山行 境川停留所 下車すぐ

大阪駅前より (88) 天保山行 境川停留所 下車すぐ



【病院概要】

院長	櫻井 寿也
開設日	1988 年 (昭和 63 年) 10 月
病床数	58 床
標榜科目	眼 科 / 麻酔科
土地・建物 (㎡)	敷地面積 991.76 ㎡ 延床面積 3,942.97 ㎡
基準関係	一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 6) / 診療録管理体制加算 2 医師事務作業補助体制加算 1 (20 対 1) / 医療安全対策加算 1 / 医療安全対策地域連携加算 1 データ提出加算 1 ロ (医療法上の許可病床数が 200 床未満) / 患者サポート体制充実加算 病棟薬剤師業務実施加算 1 / 救急医療管理加算 25 対 1 急性期看護補助体制加算 (看護補助者 5 割未満) / せん妄ハイリスク患者ケア加算 短期滞在手術等基本料 1 / 入院時食事療養 (I) / 薬剤管理指導料 / コンタクトレンズ検査料 1 ロービジョン検査判断料 / 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 4 に掲げる手術 治療的角膜切除術 [エキシマレーザーによるもの (角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係 るものに限る)] 角膜移植術 (注 2 : 角膜内皮移植加算) 羊膜移植術 / 緑内障手術 [緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの)] 緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術) 緑内障手術 [濾過胞再建術 (needle 法)] 網膜再建術 / 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術 黄斑下手術等 (黄斑下手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、眼窩腫瘍摘 出術他) 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 (涙嚢鼻腔吻合術) / 角膜移植術 / 上顎骨形成術等 (上顎骨形成術) 療担規則第 5 条の 4 第 1 項及び療担基準第 5 条の 4 第 1 項の選定療養に関して支払を受けよう とする場合の厚生労働大臣の定める基準による (24) 白内障に罹患している者に対する水晶 体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給に関する事項

(2023 年 3 月現在)

◆診療部（眼科）

【部署概要】

常勤医師 15 名と非常勤医師 15 名で構成されている。

【診療・部署体制】

月曜日から金曜日まで午前診・午後診ともに 5～7 診体制で、一日平均患者数約 177 名（初診患者数約 26 名）の診療に当たっております。（土曜日は 1 診制）。眼科のなかでも専門分野が細分化され、診療が高度化してきた医療事情を踏まえ、当院では各専門領域の専門科を配置し高度な診療を提供しております。どの診療枠にも網膜剥離、眼外傷、緑内障発作など緊急疾患に対応できる医師を配置し、いつでも緊急手術ができる診療体制にしております。

フェムトセカンドレーザーを使用した白内障手術や全角膜移植（IEK）、有水晶体眼内レンズによる屈折矯正手術など最新の治療にも取り組んでおります。

【診療・部署実績】

2022 年度の手術件数は 4,429 件で、内訳は白内障手術 2,380 件、網膜硝子体手術 1,124 件、屈折矯正手術 59 件、その他 866 件となっています。

加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬の硝子体注射は上記の件数に含まれておらず、外来処置室にて年間約 2,342 件施行しております。

◆看護部

【部署概要】

<入院>

5 階・6 階（2 フロア 1 看護単位：58 床）、6 階 6 床は日帰り手術（ケアルーム）として使用

月平均新入院患者 224 名、病床稼働率 72.4%、平均在院日数 4.2 日

入院患者のほとんどが手術目的である。短い在院日数のなかで退院後の生活に必要な手技（点眼）を取得できるよう他部門と連携して退院指導、退院支援に力を入れている。他施設からの紹介による緊急入院に迅速に対応できる体制を整えている。

<外来>

ケアルーム稼働率 116%

外来看護師は処置介助、検査介助、術前及び入院オリエンテーションを行っている。診察や検査の待ち時間短縮に向けて効率を重視しながら、一人一人の患者に丁寧な対応を心掛けている。

【診療・部署体制】

人員配置：一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 6）

急性期看護補助体制加算 25：1（5 割未満）

看護要員：看護師 41 名、ナースエイド（看護補助者）4 名、病棟クラーク 2 名

メディカルクラーク 33 名

看護方式：固定チームナーシング

【特色・トピックス】

- 1.公益社団法人 大阪府看護協会主催
感染管理認定看護師教育課程受講（2022.10～2023.6）：江口華代
- 2.公益社団法人 全日本病院協会主催
看護補助者の更なる活動のための看護管理者研修（2023.2.27）：栄元理恵
- 3.公益社団法人 大阪府看護協会令和4年度推薦員就任（2022.6～2023.6）：富永ルミ子
- 4.短期滞在日本外科手術研究会世話人更新（2022.4.1～2023.3.31）：富永ルミ子
- 5.大阪府眼科医会主催豆の木スクール講師オンデマンド（2022.4）：谷岡裕子
- 6.大阪府変則2交代制 夜勤勤務時間の短縮 夜勤帯 18:30～翌 9:30 へ変更（2022.4）
- 7.眼科看護部教育計画 眼科コース開設（2022.4～2023.3）
- 8.法人関連施設手術室との連携強化 手術室看護師は総合病院手術室配属へ（2022.4）
- 9.薬剤 SPD 導入検討開始（2022.6）
- 10.当院手術支援室発足 看護師は手術センター手術支援室へ配属変更（2022. 7）
- 11.KHS メディカルクラーク制服の統一（2022.7）
- 12.当法人主催 医師事務作業補助研修開催（2022.9～2023.3）
- 13.大阪市立西中学校職場体験受け入れ（2022.9）
- 14.ナースエイド（看護補助者）TQM 発表会（2022.2）
- 15.関西福祉科学大学臨地実習（2023.3）
- 16.タスクシフト/シェア
 - ・入院清算の患者説明を医事課へタスクシフト
 - ・診断書発行の窓口を1階へ一本化
 - ・治療食の選択を管理栄養士へタスクシフト
 - ・食事量入力を看護補助者へタスクシフト
 - ・休日の持参薬管理の方法を検討、薬剤師とのシェア
 - ・褥瘡、スキンケアのアセスメントに管理栄養士も関与（シェア）
 - ・検体搬送を人財いきいき推進課へ協力（シェア）
- 17.外来業務に係る紙運用廃止に向けたチーム活動始動
（事務、視能訓練士・看護師、メディカルクラーク、地域連携室、手術調整室合同）
- 18.看護部クリニカルリーダー2022 年度取得者
リーダーⅠ（1名）リーダーⅡ（4名）リーダーⅢ（2名）
- 19.2022 年度医師事務作業補助者研修修了者 3名
- 20.眼科コース修了者 7名

【診療・部署実績】

- 1.看護目標に対する評価
 - 1) 部署別目標中間評価（9月）
 - 2) 部署別目標最終評価（3月）
- 2.看護部委員会成果発表会（3月）

◆医療技術部（視能訓練科）

【部署概要】

当科では各種眼科医療機器・器具を使用し、さまざまな視機能検査や斜視・弱視の訓練およびロービジョンケアなどを行っている。

【主な業務内容】

- ・眼科一般検査
視力・眼圧・視野・色覚・眼底写真・コンタクトレンズ・白内障術前検査など
- ・斜視弱視検査および訓練指導
斜視術前検査・弱視訓練・眼球運動訓練・輻湊訓練など
- ・ロービジョンケア
低視力者に対するルーペ・遮光眼鏡・拡大読書器などの視覚補助具の選定、各種福祉サービスや身体障害者手帳に関する情報提供など

他にも屈折矯正手術では術前、術後の検査に加えて手術室でのオペレーターを担当し、白内障手術では日々のデータを入力、解析することで精度管理に役立っている。新しい多焦点眼内レンズ等の導入に際しても事前の準備や術後評価を行い、日常の診療や医師の学会発表、論文投稿へのデータおよび情報の提供も担っている。

地元の幼稚園の眼科検診に医師とともに出向き地域の検診にも参加している。

【診療・部署体制】

全員で取り組む一般検査の他により専門性の高い分野について6つのサブグループを組み、これらグループの活動を通じて技術の向上や問題解決をはかるとともに業務の改善にも取り組んでいる。また、新入メンバーの研修についてもグループ単位で行っている。

【サブグループの構成】

Aモード・エキシマレーザー・写真・ロービジョン・コンタクトレンズ・OCT

【特色・トピックス】

外来業務の運営において人員配置や各検査の流れを見直し業務の効率を改善した。

Aモードグループではマルチコーディネーターの育成に取り組んだ（2名）。

ロービジョングループでは新設のロービジョン検査判断料の算定導入に向けて取り組み導入を開始した。

OCTグループでは測定のルールや測定機種を見直し、機器の配置変えを行うことで検査効率の向上を図った。

斜視の術前検査に関しては検査の項目を見直し選定を行った。

【診療・部署実績】

視能訓練業務

斜視・弱視視能訓練（35件）、斜視術前・術後検査（149件）、プリズム眼鏡処方（72件）

ロービジョンケア（61件）

専門分野の活動

Aモード

黄斑上膜＋白内障手術後屈折誤差データ解析（2023年度継続）

PTK後白内障手術屈折誤差データ解析（2023年度継続）

ロービジョン

福祉サービス・年金制度の利用についてのまとめ

各専門分野の学会に参加し部署内で報告を行い情報の共有を行った

学会発表への協力（医師の学会発表に向けてのデータ収集・解析）

第76回日本臨床眼科学会

インストラクションコース 黄斑手術自由自在 黄斑前膜

手術前後のMNREAD-Jの測定およびデータ入力・解析（櫻井 Dr）

資格取得

視能訓練士臨地実習指導者講習会受講（1名）

◆医療技術部（臨床検査科）

【部署概要】

感染管理業務・臨床検査関連業務を主とし、眼科検査業務(視能訓練科業務)および管理部業務の補助をおこなう。

【診療・部署体制】

臨床検査技師	1名
感染管理業務	医局・医療安全部・各部署と連携して、院内感染防止対策を推進 院内感染防止対策委員会(ICC)の運営
臨床検査業務	検体採取・臨床検査データ確認・眼科領域 PCR 検査外注手配
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)
事務部業務補助	各部署器材および機器の修理に関する管理業務・各部署稟議書管理

【特色・トピックス】

COVID-19 検査 鼻腔・鼻咽頭検体採取を担当
各部署間を組織横断的に業務実施
各部署からの各種問い合わせ・要請に対応
感染対策関連・医療機器(中材業務)関連学会参加等による知見に基づいて業務対応

【診療・部署実績】

感染管理業務	新型コロナウイルス感染症 各種対応 感染症法改正に準じて 届出一覧・届出基準・届出様式の更新(随時)
臨床検査業務	術前 臨床検査データチェック 実施 新型コロナウイルス感染症検査 検体採取実施
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)実施・光干渉断層画像撮影(OCT)
事務部業務補助	各部署における器材および機器の修理に関する管理の実施 各部署における稟議書の管理の実施

◆医療技術部（栄養科）

【部署概要】

患者様自身の回復力を高め、疾病治療に役立てることを目的として、各個人の病状に合わせた適切な食事を提供している。見た目や味だけでなく、視力が不良な患者が多いことを考慮し、料理と食器の色のコントラストにもこだわっている。おかずは一から手作りすることで、食物アレルギーや嗜好など個別対応にも柔軟に対応できている。また、入院中の食事以外に、必要な患者様には、退院後の食生活に関する栄養相談や指導を行っている。

【診療・部署体制】

管理栄養士 2 名

※給食業務は日清医療食品に委託（栄養士 2 名、調理師 2 名、調理員 3 名）

【特色・トピックス】

- ・昨年度に引き続き、感染防止対策を実施し、患者様に安心して食事を楽しんでいただけるよう環境を整備した。
- ・新規入院患者を対象に、入院時にアレルギーの有無の確認と食事内容の説明を行い、安心安全な食事提供と事故防止に努めた。
- ・7 階フロアは災害時の一時避難所に指定されているため、患者を受け入れる場所作りと避難誘導を迅速かつ適切にできるよう、2022 年度は多職種合同で災害訓練を 2 回実施した。

【診療・部署実績】

《月別食事提供数》

	一般食	特別食	総食数
4月	2,199	742	2,941
5月	2,104	505	2,609
6月	2,086	500	2,586
7月	2,095	558	2,653
8月	1,940	524	2,464
9月	2,058	498	2,556
10月	2,143	431	2,574
11月	2,160	520	2,680
12月	2,228	364	2,592
1月	1,864	605	2,469
2月	2,006	288	2,294
3月	2,352	402	2,754

《行事食》

4月	お花見弁当	桜ちらし、桜餅
5月	端午の節句	箱寿司、柏餅
7月	七夕	七夕そうめん
10月	体育の日	栗ご飯
11月	紅葉弁当	松茸ご飯、芋羊羹
12月	冬至	ゆず味噌田楽
	クリスマス	クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1月	お正月	お節料理
2月	節分	恵方巻き、福豆
3月	ひな祭り	ちらし寿司

◆手術センター

【部署概要】

2022年度の手術件数は4,429件で、白内障手術を中心に多数の手術を手がけてきた。手術支援室ではこれらの手術を安全かつ迅速に実施できるよう取り組んでいる。

当院の特色として、予定手術に加えて多数の緊急手術を受け入れていることがあげられる。他施設からの紹介による網膜剥離や眼外傷、眼内炎、緑内障発作などの緊急疾患患者に対しては、地域連携室と受診予定の患者情報を共有し、手術の受け入れができるよう関連部署と連携し、迅速に対応できる体制を整えている。2022年度の当日緊急手術は404件（月平均33.6件）であった。

また、小児や認知症など、局所麻酔での手術が困難な患者に対しては、全身麻酔による手術を実施しており、2022年度の全身麻酔手術は376件であった。

限られた時間の中で多種多様な手術に対応しながら、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者の安全を第一に考え、常に患者の個性を大切に、患者の立場に立った周術期看護の提供ができるよう努めている。

【診療・部署体制】

手術室：1～4ルーム（4ルームはエキシマレーザー専用手術室）

勤務体制：月・水・金・土・日曜日・祝日 待機1名体制 火・木曜日 待機2名体制

手術支援室職員数：8名 常勤看護師5名（うち看護主任2名）非常勤看護師1名 視能訓練士1名 事務員1名

【特色・トピックス】

1. 手術室運営の再構築

- 1) 業務の標準化のため、手術支援室業務基準・業務マニュアルの作成に取り組んだ
- 2) 関連部署と協力して手術受け入れ体制の改善を行い、時間外手術件数の削減に取り組んだ
（時間外手術件数：2021年度より28%減）

2. 教育体制の見直し

- 1) 新入職者の指導に役立てるため、役割別業務確認表・新入職者パスの作成に取り組んだ
- 2) 医師による手術支援室勉強会の開催
（1）網膜剥離について（10月） （2）白内障手術・機器について（11月）

3. 安全の確保

- 1) 危険予知能力の向上に努め、インシデント発生件数の削減（眼内レンズ関連、薬剤関連、眼内炎）、ヒヤリハット報告件数の増加に取り組んだ
- 2) 他職種合同防災訓練の実施（3月）
役割別アクションカードの見直し・更新

4. 自己研鑽（学会・各種セミナーへの参加）

- 1) 麻酔セミナー 1名（10月）
- 2) 2023年度手術室 感染対策セミナー 2名（1月）
- 3) 日本眼科手術学会学術総会 2名（1月）
- 4) 第21回 院内感染対策セミナー 2名（1月）

5. 他部署の臨床実習への協力

- 1) 愛知淑徳大学 視能訓練士臨床実習 1名（2月15日・2月22日）

【診療・部署実績】

2022 年度の手術件数：4,429 件

手術内訳：白内障手術 2,380 件 網膜硝子体手術 1,124 件(うち強膜内固定 112 件)

涙道手術（涙道内視鏡下チューブ挿入術、涙嚢鼻腔吻合術など）314 件 緑内障手術 151 件

その他の手術（斜視手術、角膜移植術、眼形成手術など）460 件

全身麻酔手術：376 件

当日緊急手術：404 件（月平均 33.6 件）

当日以外の追加手術：590 件

1 日平均手術件数（平日）：18.6 件

◆薬局

【部署概要】

薬局では、安全かつ適正な薬物治療を提供できるよう薬剤師としての専門性を活かし、内服薬・外用薬・注射薬の調剤業務、特殊な院内製剤を作成する製剤業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、医薬品管理業務、治験業務などの業務に取り組んでいる。また、感染防止対策、医療安全対策、褥瘡対策などのチーム医療にも積極的に参加している。

【診療・部署体制】

常勤薬剤師：4 名（平日 1.5 日/週、土曜日 0.5 日（隔週）1 名 総合病院薬剤部にて勤務）

うち医薬品情報管理室 1 名

病棟専任薬剤師 3 名

【特色・トピックス】

2018 年 4 月から病棟薬剤業務実施加算を開始し、よりいっそう入院患者様に安心してお薬を使用していただけるよう病棟活動を主としている。2022 年下期からは特に安全管理が必要な医薬品への指導を積極的に行っている。また、臨床試験や製造販売後調査等、院内 CRC として治験業務にも関わっている。2022 年 9 月からは同法人内の他施設間の薬剤部・薬局研修を開始し、同法人他施設の薬剤師との交流も深め、眼科関連薬だけではなく積極的に他分野の知識を深めている。また、多根総合病院の薬学部実習生を眼科病院でも約 1 週間、実習を受け入れている。

【診療・部署実績】

	入 院				*包括対象外			外来院内 薬剤情報
	新入院数	指導患者 数	指導回数 (訪問)	*薬剤管理指導料 (安全管理を要 する医薬品)	*薬剤管理指導 料(1の患者以 外の患者)	*退院時薬 剤情報管 理指導料	*病棟薬剤業 務実施加算 1	
2022年4月	232	250	520	1	214	128	234	203
2022年5月	216	218	450	0	196	104	223	194
2022年6月	245	247	512	1	208	115	214	224
2022年7月	214	218	452	0	193	98	224	203
2022年8月	221	225	454	2	201	101	196	188
2022年9月	200	221	452	0	171	91	177	205
2022年10月	207	219	436	5	196	106	219	189
2022年11月	233	235	492	32	180	127	219	84
2022年12月	213	216	478	29	171	112	206	63
2023年1月	223	221	463	41	146	94	208	59
2023年2月	218	222	468	15	155	97	183	53
2023年3月	267	253	605	33	173	126	215	64
合計	2,689	2,745	5,782	159	2,204	1,299	2,518	1,729
月平均	224	229	482	13	184	108	210	144

	外来処方箋		外来 注射箋	入院処方箋		入院注射 処方箋	院外処方箋 発行枚数
	枚数	剤数		枚数	剤数		
2022年4月	441	766	258	901	2153	146	1889
2022年5月	413	690	255	734	1734	126	1764
2022年6月	475	812	308	842	1922	138	4170
2022年7月	420	753	253	736	1703	110	1825
2022年8月	365	664	273	723	1692	117	1793
2022年9月	388	717	291	756	1739	110	1973
2022年10月	351	652	257	769	1789	138	1906
2022年11月	119	166	289	857	1928	132	2026
2022年12月	105	159	258	804	1893	125	2047
2023年1月	99	145	270	753	1777	125	2005
2023年2月	96	147	245	1743	1771	137	1930
2023年3月	115	155	284	966	2174	134	2196
合計	3,387	5,826	3,241	10,584	22,275	1,538	25,524
月平均	282	486	270	882	1,856	128	2,127

◆医療安全部

【部署概要】

医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の推進を図ることを目的として、医療安全管理委員会と連携しながら活動を展開している。

主な業務内容

1. インシデントレポートを集計し、問題を分析する。
2. 医療事故等の原因究明と防止策の立案、実施及び評価を行う。
3. 日常的に院内をラウンドし、各部署の医療安全マニュアルの遵守状況、インシデントに対する改善策の実施状況を確認し、必要な指導を行う。
4. 医療安全マニュアルの策定、整備を行う。
5. 医療安全に関する職員研修の企画及び運営を行う。
6. 相談窓口担当者と連携し、患者・家族等からの相談に対応する。

【診療・部署体制】

医療安全部長（副院長）

医療安全管理者（看護師長）

医薬品安全管理者（薬局長）

事務長

・医療安全対策加算 I

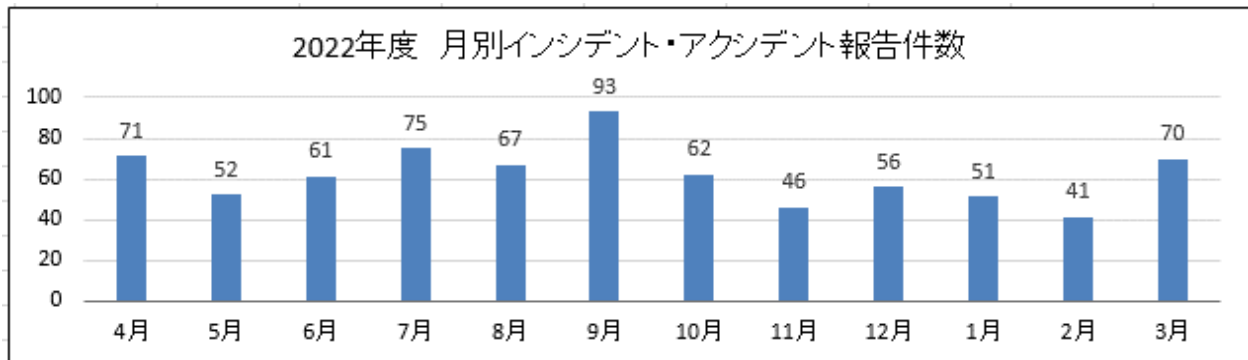
・医療安全対策地域連携加算 I

【特色・トピックス】

1. インシデントレポートの分析及び対策の検討
2. 医療安全マニュアルの改訂（患者誤認防止マニュアル）
3. ヒヤリハット推奨のため、強化月間にポスター掲示や危険予知トレーニング等を実施した結果、前年度の約 1.7 倍に増加した。
4. ポジティブレポートの推進
毎月ヒヤリハット報告の中から、職員の気付きで事故やエラーを防げた事例を「ポジティブレポート」として選出し、院内メールで配信して共有する取り組みを実施している。年間で最も良かった事例に対しては、最優秀賞として表彰を行った。
5. 毎月 1 回、テーマを決めて医療安全ラウンドを実施
6. 医療安全研修の開催（全職員対象 年 2 回、新入職者対象 年 2 回）
7. 南海トラフ地震を想定した防災訓練、災害対策本部設置訓練の実施

【診療・部署実績】

1. 2021年度インシデント・アクシデント報告件数 754件



2. 医療安全研修

1) 全職員対象

5月12日 「インシデントレポートについて」

11月10日 「倫理研修」

2) 新入職者対象

4月7日 「医療安全の基礎知識」

4月27日 「患者確認、与薬の6R、転倒防止」(看護師のみ)

◆事務部

【部署概要】

《経営管理》

中・長期および年度計画管理 / 収支管理 / 経営指標管理 / 諸規定管理 / 業務委託管理 / 防災・防犯管理
未収金管理

《診療報酬管理》

診療報酬請求業務 / 施設基準管理 / 審査増減・請求漏れ管理

《個人情報管理》

診療記録管理 / 個人情報保護相談窓口業務 / 患者動向管理

《患者対応》

受付業務 / 会計業務 / 電話交換業務 / 院内掲示管理 / クレーム対応 / 施設内外保安業務
病院者運転業務（患者搬送）

【診療・部署体制】

窓口業務（受付・会計等）の他、スタッフごとに業務を分担することで高い専門性を維持し、業務を定期的にローテーションすることで業務の平準化と職員教育に繋げている。

《主な分担業務》

- ・診療報酬請求管理（公費/労災）
- ・返戻再請求管理
- ・データ提出加算管理
- ・自費診療管理
- ・未収管理

【特色・トピックス】

1. 部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進
2. 施設基準および加算の管理
3. レセプト査定の最小限への取り組み
4. 自己研鑽の推進（学会・勉強会への参加、各種資格の取得）
5. 治験への積極的協力
6. 学生研修の積極的受け入れ

【診療・部署実績】

《他部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進》

メディカルクラーク、視能訓練科と連携して受付業務を効率化し、初診患者の待ち時間短縮に繋げている。

《施設基準および加算の管理》

新規加算取得による増収 / 次年度診療報酬改定を想定した経営指標の試算、対策立案

【資格一覧】

施設：	多根記念眼科病院	部署：診療部
役職・氏名	資格	
院長 櫻井 寿也	眼科専門医/眼科指導医/医学博士/PDT学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
副院長 齋藤 伊三雄	眼科専門医/医学博士	
副院長 川村 肇	眼科専門医/眼科指導医/医学博士/PDT学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
診療部長 大江 雅子	眼科専門医	
統括部長 木下 太賀	眼科専門医/PDT学会認定医/医学博士/臨床研修指導医/水晶体眼内レンズ (Artisan,Artiflex) 認定医/エキシマレーザーVisix 認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
診療副部長 宋 よんす	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
医長 北方 秀憲	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
伊集院 朋子	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
医長 三島 雅	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
越智 靖之	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
明石 麻里	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
谷村 直紀	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
八木 真利子	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	

施設：	多根記念眼科病院	部署：看護部
資格		人数
認定看護管理者		1名

施設：	多根記念眼科病院	部署：視能訓練科
資格		人数
認定視能訓練士		3名

施設：	多根記念眼科病院	部署：薬局
資格		人数
治験コーディネーター		2名
認定実務実習指導薬剤師		2名
日病薬病院薬学認定薬剤師		3名

サプリメントアドバイザー	1名
公認スポーツファーマシスト	1名

施設：	多根記念眼科病院	部署：	検査科
資格			人数
第2種滅菌技士			1名

施設：	多根記念眼科病院	部署：	栄養科
資格			人数
病態栄養専門管理栄養士			1名

【学会発表】

【学会発表】	施設：	多根記念眼科病院	部署：	医局
会名称	第76回日本臨床眼科学会			
発表テーマ	インストラクションコース 黄斑手術自由自在-黄斑前膜-			
日時	2022.10.13-10.16	発表者	櫻井 寿也	
場所	東京国際フォーラム			
会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会			
発表テーマ	巨大黄斑円孔に対する自己網膜移植術			
日時	2023.1.27-1.29	発表者	長富 友里	
場所	東京国際フォーラム			
会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会			
発表テーマ	外傷性巨大黄斑円孔に対し ILM hemi-Inverted flap 法を併用した手術			
日時	2023.1.27-1.29	発表者	池内 英祐	
場所	東京国際フォーラム			
会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会			
発表テーマ	LASIK 眼の適切な計算式選			
日時	2023.1.27-1.29	発表者	谷村 直紀	
場所	東京国際フォーラム			
会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会			
発表テーマ	インストラクションコース 症例から学ぶ硝子体手術 落下 IOL の強膜内固定再利用における術中屈折測定により IOL 位置決定法			
日時	2023.1.27-1.29	発表者	櫻井 寿也	
場所	東京国際フォーラム			

会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会		
発表テーマ	モーニングセミナー 眼内レンズ選択、Best choice を考える 落下 IOL の取扱い		
日時	2023.1.27-1.29	発表者	櫻井 寿也
場所	東京国際フォーラム		
会名称	第46回日本眼科手術学会学術総会		
発表テーマ	網膜細動脈瘤破裂による黄斑下血腫移動術		
日時	2023.1.27-1.29	発表者	櫻井 寿也
場所	東京国際フォーラム		

【学会発表】	施設：	多根記念眼科病院	部署：	栄養科
会名称	第26回日本病態栄養学会			
発表テーマ	増殖糖尿病網膜症で入院した患者に対し、多食種で再度退院支援を行った1症例			
日時	2023年1月13日	発表者	前田 智子	
場所	国立京都国際会館			

社会医療法人きつこう会